

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第3区分
 【発行日】平成23年8月25日(2011.8.25)

【公開番号】特開2010-593(P2010-593A)
 【公開日】平成22年1月7日(2010.1.7)
 【年通号数】公開・登録公報2010-001
 【出願番号】特願2008-189174(P2008-189174)
 【国際特許分類】

B 2 6 F 1/32 (2006.01)
B 0 2 C 18/02 (2006.01)
B 2 6 B 13/22 (2006.01)
B 2 6 B 13/06 (2006.01)

【F I】

B 2 6 F 1/32 L
 B 0 2 C 18/02
 B 2 6 B 13/22
 B 2 6 B 13/06

【手続補正書】
 【提出日】平成23年6月15日(2011.6.15)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

平面上の360度の方向で斜めを含む縦横の行列が複数からなり、細密な順序性がある穴を全体的に開ける圧力式穴開け構成部を設け、圧力式穴開け構成部は凹凸形状の表面部の2枚の金属板の平面が平行で平面間同士が同時に垂直移動で整合して、適度な重圧を掛けることにより穴を開け、穴を開ける部分に圧力式穴開け構成部を整合させる移行措置としてハサミ式機構を用いてカットし、圧力式穴開け構成部はハサミの握り手部とは逆側のハサミの先端部分に設け、ハサミの押さえ圧力が浅い位置の状態では切断機能、ハサミの押さえ圧力が最大付近に深くなるとシュレッダーの穴開け機能に変化するように、ハサミの支点からハサミの先端部に掛けて、ハサミの刃先を適度に丸くした型にする構造の丸型形状、丸型形状範囲を保有したもの、或いは、圧力式穴開け構成部だけを単独とした2枚金属板の周囲は遮るものを無くした構造にし、穴開け、切断を有することを特徴としたパンチ式シュレッダー。